まどマギ学園

終わらない厨二病

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので

超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。 小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を

【あらすじ】

2XXX年ヘルシング機関の最終兵器アーカードがマリク・イシュタールの洗脳に

di

よって暴走!

苦闘!リゾット・ネエロが応戦しに来るもアーカードの前には一歩及ばず! 零号解放をしたアーカードの前に駆けつけたキング・ブラッドレイ大総統閣下も悪戦 最終的には通りかかった継国縁壱によってあっさりアーカードは倒された。

方その頃鹿目まどか達は…

1

1

第1話

先輩

美樹さやか 美樹さやか「私美樹さやか中学2年生!」 「最近の悩みは薬指の第二関節の痛み」

美樹さやか 「私には憧れの先輩がいるんだ!」

美樹さやか「それは…」

美樹さやか「イタリアから留学してきた留学生のブローノ・ブチャラティ先輩!」

ブローノブ・チャラティ「何だい?美樹さやか」

「あ!ブチャラティ先輩!!:」

美樹さやか

美樹さやか「いつものアレやって!」

ブローノ・ブチャラティ「いいとも!」

ブローノ・ブチャラティ「ほら、ジッパーで首をはずしてデュラハンだよ」

ブローノ・ブチャラティ「僕の体で熟成したキビヤック食べるかい?」 美樹さやか「(ブチャラティ先輩はいつもこんな感じです。)」

美樹さやか「わ~、脇の下のジッパーからキビヤックが~」

美樹さやか「頂きます!」

美樹さやか「(私はそんなブチャラティ先輩が大好きです。)」 美樹さやか「やっぱ熟成されたアパリアスの肉は美味しいな!」 ブローノ・ブチャラティ「たあんとお食べ」

第2話 美樹さやか「私美樹さやか中学2年生」 親友

美樹さやか

「最近ポルナレフと交換したんだ!」

美樹さやか「オクタビィアとチャリオッツ!」 美樹さやか 「何かって?」

略したけど相変わらず、アイツの結界硬いね!」 美樹さやか「最近杏子と手合わせしてアーマーテイクオフでロッソファンタズマは攻

美樹さやか「あ、杏子だ!」 美樹さやか「レイピアじゃビクともしなかったよ!」 美樹さやか 「まぁ、ラストシュートで勝ったけどね」

2

佐倉杏子「ガンダム視聴」 美樹さやか「おーい杏子~何してんだ~?」

美樹さやか「へ~」

あったの?」 美樹さやか「でもそれガンダムじゃなくて、ブレインパワードだよ?大丈夫?何か

佐倉杏子「大丈夫じゃない…」

佐倉杏子「最近ランバ・ラル先生にくるぶし大きいねって言われたんだ…」 美樹さやか「何で?」

美樹さやか「酷~可哀想~!!」

美樹さやか「はま寿司行く?」

佐倉杏子「やだ、ステーキガスト行く!」 美樹さやか「しょうがないな~」

この後2人はステーキガストの食べ放題のパンをかっさらったという…

第3話 家飲み

美樹さやか「うい~遊びに来たよ~」

美樹さやか「何でだよ」

`「指のささくれが剥けちゃって…」

「それはグラス粉砕しても仕方ないな」

美樹さやか「無いけど?何で?」

佐倉杏子「前にグラス軒並み粉砕しちゃってさ」

佐倉杏子「割れてないのこれしかないわ」

美樹さやか佐倉杏子「

佐倉杏子「紙コップ買ってきた?」 佐倉杏子「バレちったか」 美樹さやか「いや、飲んだことあんのかい!」 佐倉杏子「有能やん」 佐倉杏子「いやまだ中学生だし~」 佐倉杏子 美樹さやか「まぁいいや飲もうぜ!!」 美樹さやか「ヒューガルデンとフォーナインロング缶4種」 佐倉杏子「何持ってきたん?」 美樹さやか「こまけぇこたぁいいんだよ!」 美樹さやか「家飲みしようや」 ・「唐突う~」

5

美樹さやか「いやそれ酒呑童子とかが使ってるやつぅ~」

佐倉杏子「じゃあビール注ぐね」

美樹さやか「プラコップ買ってくるね」

佐倉杏子「飲みずらつ!」

2人「乾杯ツ!!」

美樹さやか「じゃあ乾杯するか!」 佐倉杏子「例えわかりずらっ!」 美樹さやか「待て待て、香水屋とかのモコモコのアレみたいになってる」